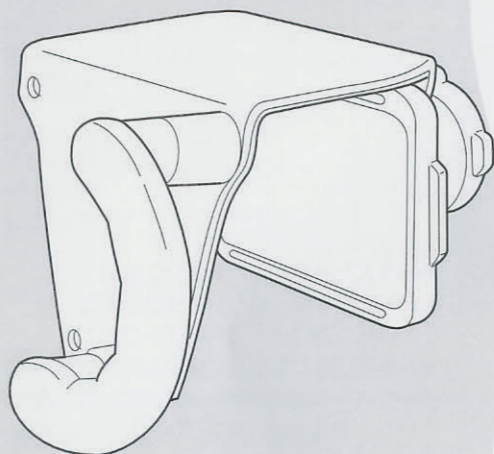
大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

安寿浴槽内用グリップ
取扱説明書

このたびは安寿浴槽内用グリップを
お求めいただきまして、
まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、
ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管
してください。

安寿浴槽内用グリップS/W

もくじ

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 警告

毎回ご使用の前に、グリップを前後左右に揺らしてみて、浴槽にしっかり固定されているか必ず確認してください。
しっかり固定されていないと、使用中に本品が外れ転倒する恐れがあります。

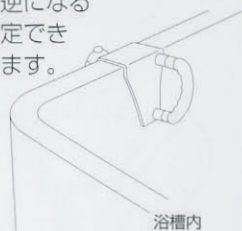
浴槽壁の厚みが次の範囲の場合では取りつけないでください。
（Sタイプ）4.5cm未満、8cmを超える場合。
（Wタイプ）8cm未満、11.5cmを超える場合。
本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となったり、浴槽が破損することがあります。

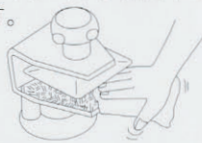
⚠ 注意

改造や分解をしないでください。
本品が正常にはたらかず、けがの原因となります。

本品を取りつける前に、浴槽の取りつけ面に湯あか等の汚れや、水分及び洗剤等が付着していないことを確認してください。
浴槽が汚れていると、使用中に本品が外れ転倒する恐れがあります。

使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、介助者の付き添いが必要です。

内グリップが必ず浴槽の内側を向くように取りつけてください。
取りつけ方向が逆になると、しっかり固定できない場合があります。

万一ゴムシートがとれた場合、本体・ゴムシートに残った（のり）をきれいに取り除き、市販の強力タイプ両面テープでゴムシートを貼り直してからご使用ください。
ゴムシートがはがれると本品が左右に滑りやすくなり転倒やけがの原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

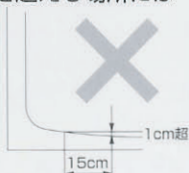
浴槽の壁厚が（Sタイプ）4.5～6.9cm、（Wタイプ）8.0～10.4cmの場合は、必ず付属の「壁厚補助板」を使用して取りつけてください。
壁厚補助板を使用しないと本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となります。

浴槽壁の外側に段がついている場合は、必ず付属の「段差補正板」を使用してください。
段差補正を行わないと本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となります。

取りつけ・取り外しの場合は、足の上に落とさないよう取り扱いには十分注意してください。
足に落とすと負傷・骨折の恐れがあります。

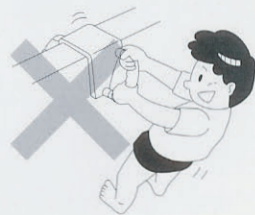
浴槽以外のものには取りつけないでください。

石けんや洗剤が付着した手で使用しないでください。
手が滑って、けがの原因となります。

浴槽壁厚の差が1cmを超える場所には取りつけないでください。
本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となります。

ハンドルを必要以上に締めつけないでください。
浴槽が変形、または破損することがあります。（タイル壁面の場合は、タイルが破損することがあります。）

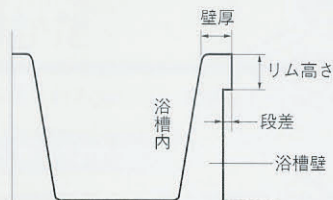
45℃以上では使用しないでください。
ゴムシートがはがれ、けがの原因となります。

本体の内グリップ部を持って、前後左右に強く押したり引いたり乱暴に扱わないでください。
浴槽が破損することがあります。

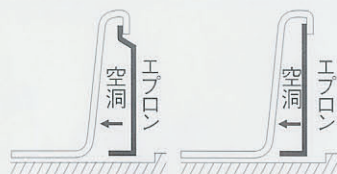
子供を遊ばせる等、他の用途で使用しないでください。
けがの原因となります。

取りつけの前に

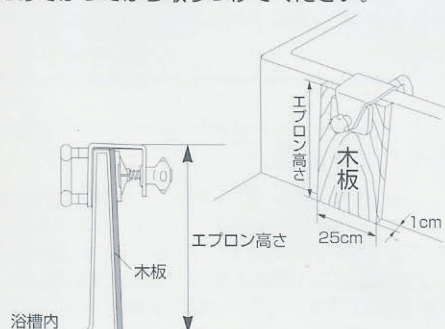
●次の確認を行ってから取りつけを行ってください。

「安寿浴槽内用グリップ」を取りつけられる浴槽壁の厚みは（Sタイプ）4.5～8.0cm（Wタイプ）8.0～11.5cmです。

ここをご確認ください。

●浴槽壁の厚みをはかってください。
●浴槽壁に段差がないか調べてください。

⚠注意

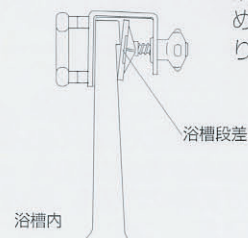
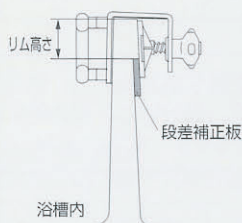
ポリ浴槽などで、浴槽外側のエプロン部が取り外し可能な場合は取りつけられません。

浴槽内外の壁が一体であるが、外壁の強度が弱く正しくセットできない場合

壁の補強として、幅25×厚さ1cmで、エプロン高さに合わせた長さの木板を、浴槽壁の外側にあてがってから取りつけてください。

⚠注意

浴槽壁の厚みが次の範囲の場所では取りつけないでください。
（Sタイプ）4.5cm未満、8cmを超える場合、
（Wタイプ）8cm未満、11.5cmを越える場合
本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因となったり、浴槽が破損することがあります。

浴槽の外側に段がついている場合は、段差補正を行ってから本品を取りつけてください。

【良くない例】

浴槽壁に段があるため、本体が傾いて取りつけられている。

【段差が15mm以下の場合】

●付属の段差補正板で、浴槽壁外側の段差を解消します。
●段差の幅やリムの高さによっても、補正の仕方は変わります。

取りつけの際は次のページの段差補正板取りつけ方法をよくお読みください。

【段差が16mm以上の場合】

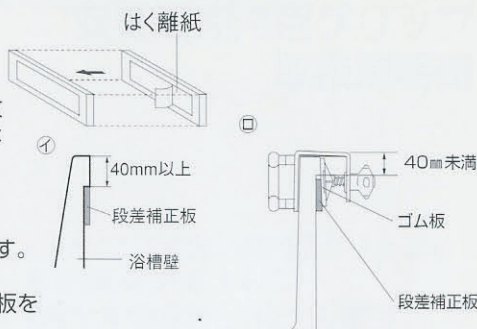
段に合わせた厚みの木板または硬いゴムを当てがってから取りつけてください。

取りつけの前に

段差補正板 取りつけ方法

段差15mm以下の場合

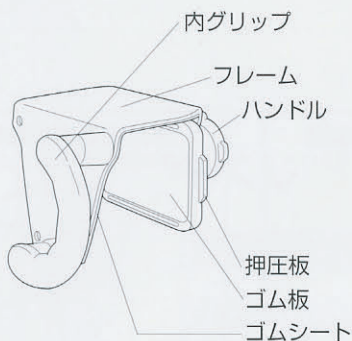
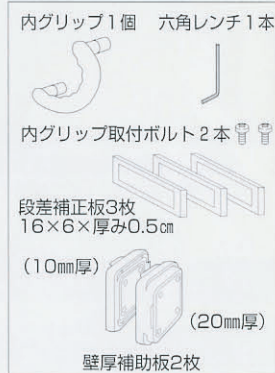
1 段差に合わせて段差補正板を用意します。2、3枚使用の場合には、最初に両面テープのはく離紙をはがし、重ね貼りをしておきます。

2 ㋑リム高さ40mm以上の場合
リム下端に接する位置へ段差補正板を貼りつけます。
㋺リム高さ40mm未満の場合
押圧板のゴム板下端に合わせた位置に、段差補正板を貼りつけます。

⚠ 注意

使用前に浴槽壁から段差補正板がとれていないか確認してください。万一段差補正板がとれた場合、浴槽壁に残った（のり）をきれいに取り除き、市販の強力タイプ両面テープで段差補正板を貼り直してからご使用ください。

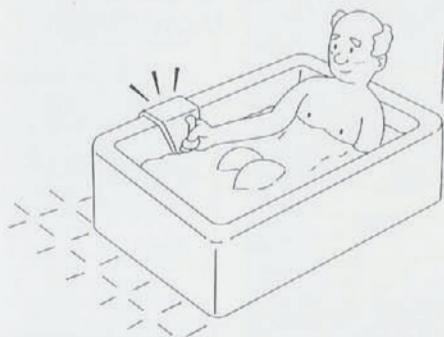
各部のなまえ

■仕様

品名	安寿浴槽内用グリップS/W
材質	ハンドル、内グリップ 押圧板/ポリプロピレン グリップ部ゴム板/エラストマー フレーム/ステンレス 軸、ネジスリーブ/ 黄銅（ニッケル、クロムメッキ） ゴムシート/エチレンプロピレンゴム 段差補正板/ポリエチレン 壁厚補助板/ポリプロピレン
サイズ	(S)19.5×23×高さ14㎝ (W)19.5×26.5×高さ14㎝
重量	(S)約1.9kg　(W)約2.1kg

■付属品

特長

●取りつけたまま風呂フタができます。
●卵型（断面形状）の持ちやすい内グリップ形状。
●グリップ部はソフトなタッチで滑りにくく、冷たさを感じさせない素材を使用。
●グリップカラーには、湯気の中でも見やすい赤色を採用。
●締めつけやすい形状のハンドル。
●浴槽壁に接する部分には滑り止めと、浴槽保護のためゴムシートを使用。
●押圧板は浴槽面に合わせて動く首フリタイプ。
●浴槽内で身体を安定させたり、引き起こしたりするのに便利な半円形状の内グリップ付き。
●内グリップは、手すりの設置状況に合わせ左右どちら側でも取りつけが可能。

使いかた（浴槽にのみご使用ください）

●使用前には必ず本品がしっかりと固定されていることを確認してからご使用ください。
●洗剤が手やグリップに付着していると滑りやすくなりけがをする恐れがありますのできれいに洗ってからご使用ください。
●入浴中、姿勢を保つために内グリップを握って使用してください。

お手入れの方法

●中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。

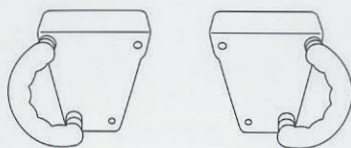
⚠注 意

※タワシや磨き粉、研摩剤入りのスポンジ等のご使用は避けてください。
※必ず中性洗剤をご使用ください。アルカリ洗剤・酸性洗剤・塩素系洗剤・シンナー・クレゾール等は絶対に使用しないでください。
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因となることがあります。

本品のグリップ部は手触り感を良くし、さらに安全のため、使用時に滑りにくいよう、特殊な方法で製造しております。そのため、部分的に白点がありますが、品質上何ら問題はありませんので安心してご使用ください。

組みたて

内グリップの取りつけ

1. 使いやすい向きを選び、内グリップの取りつけ方向を決めてください。
2. 2本のグリップ取付ボルトを付属の六角レンチで最後まで強く締め込んでください。

使いかた

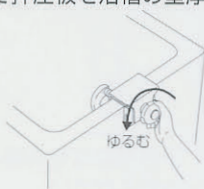
浴槽に水を入れる前に以下の手順で行ってください。

取りつけ

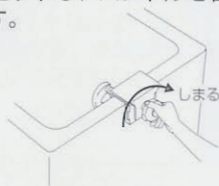
1 取りつけ可能な浴槽の壁厚は（Sタイプ）4.5～8.0cm、（Wタイプ）8.0～11.5cmです。

浴槽の壁厚が（Sタイプ）4.5～6.9cm、（Wタイプ）8.0～10.4cmの場合

2 取りつけ面に洗剤・湯あか等が付着していると滑りやすいので、乾いた布などで十分に拭き取ってください。

3 ハンドルを左に回して押圧板を浴槽の壁厚より少し広げます。

4 ハンドルが浴槽の外側にくるように取りつけます。

5 浴槽壁に図のようにセットし、ハンドルを右に回して取りつけます。

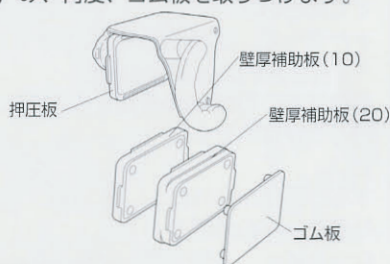
※締めつけ具合はグリップを握り左右に動かない程度を目安としてください。

浴槽の壁厚が（Sタイプ）4.5～6.9cm、（Wタイプ）8.0～10.4cmの場合は、必ず下記の説明に従い壁厚補助板を取りつけてください。

<壁厚補助板の取りつけ方法>

1 壁厚に合わせて、必要な壁厚補助板を用意します。

壁厚補助板必要枚数	
壁厚 Sタイプ 4.5～4.9cm	20mm厚1枚＋10mm厚1枚
5.0～5.9cm	20mm厚1枚
6.0～6.9cm	10mm厚1枚
Wタイプ 8.0～8.4cm	20mm厚1枚＋10mm厚1枚
8.5～9.4cm	20mm厚1枚
9.5～10.4cm	10mm厚1枚

2 押圧板についているゴム板をはずします。

3 押圧板に必要枚数の壁厚補助板を差し込み、再度、ゴム板を取りつけます。

(例)壁厚補助板
20mm厚1枚＋10mm厚1枚

正しくセットされていることの確認

- ●浴槽の壁厚が（Sタイプ）4.5～8.0cm、（Wタイプ）8.0～11.5cmであるか。
- ●浴槽壁が弱く変形していないか。変形している場合は、木板にて壁を補強してください。
- ●段がある浴槽壁で傾いて取りつけられていないか。
- ●フレームが浴槽の上縁より浮き上がっていないか。
- ●締めつけが弱くグラツキはないか。
- ●壁厚が（Sタイプ）4.5～6.9cm、（Wタイプ）8.0～10.4cmの場合、付属の壁厚補助板を使用しているか。